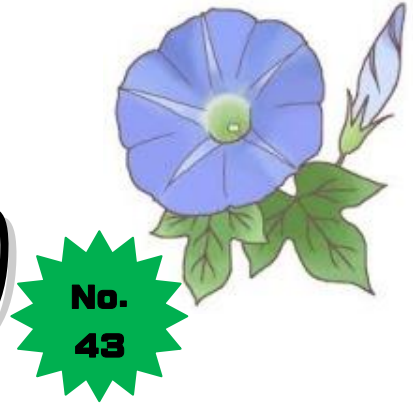


SSKW

巣立ちだより



— 目 次 —

- ・「こひつじ舎」新築工事が進行中です … 1-2
- ・巣立ち会内部新人研修会を始めています … 2-3
- ・お笑いコンビ「松本ハウス」が三鷹にやってきました … 4
- ・フットサル大会 5位入賞！！ … 5
- ・研修会・講演会を開催しました … 6-7
- ・こひつじ舎 配食サービスのご案内 … 7
- ・ユースメンタルサポート Color の活動報告 … 8

～東京都立世田谷泉高校への支援を継続しています～

「こひつじ舎」新築工事が進行中です

前号でもお伝えしましたが、平成25年度障害者（児）施設整備事業として申請をしていたこひつじ舎の整備事業が、昨年9月に東京都と調布市の補助金の内示を受け、今年9月の竣工に向けて工事が進行しています。

この事業については、当初の国内示からは落ちてしまっていたのですが、都と市のご協力による特別措置として、



第2回目の研修は、社会資源や社会制度、精神疾患の特徴と関わりについての講義を行いました。

利用者が地域で生活するにあたってどのような制度を使っているか、生活するための財源は何かなど、基礎的な社会資源について学びました。

また精神疾患の特徴についての講義の後には、参加者から利用者との関わり方について質問が



あり、積極的に取り組んでいる様子がみられました。

第3回目は近隣地域の精神科病院・福祉施設の見学を行いました。

井之頭病院、吉祥寺病院、長谷川病院、社会福祉法人三鷹ひまわり会の通所3施設、社会福祉法人むうぶの通所3施設、三鷹市障がい者自立支援センターゆー・あい、野川ホーム、ケアホーム大沢を見学させて頂きました。

（施設見学の感想）

まず日中の活動場の作業所について。メンバーのニーズに合わせた法人内の複数施設の住み分け、また、メンバーのニーズのみでなくストレンクスにも着目した事業展開が特徴だと感じました。加えて、メンバーの施設利用の目的を考慮し、作業内容や工賃について考え続ける必要性も感じました。店舗経営では、「普通のお店」として地域の人々に利用されることが人々との交流を促進させ、安定した地域生活につながるように思いました。

病院見学では、メンバーの方々の入院中の生活の様子が少しでも想像出来、今後お話を伺うにあたってとても有意義な経験でした。入院期間の短期化に伴い、地域内支援が一層重要になったという、MSWのお言葉が印象に残りました。

生活の場であるケアホームの見学では、日常生活での支援員の役割を垣間見ることが出来、大変勉強になりました。

この見学会では、巣立ち会が参考にできる点に沢山気付くことが出来ました。見学させて頂き下さった方々に改めてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

（巣立ち風 安井）

お忙しい中、見学を受け入れて頂いた病院、福祉施設の皆様、ありがとうございました。

4回目の研修では、「利用者への対応についての原則」の講義があり、利用者の個人情報の取り扱い方は、情報、データ、書類だけではなく、話しをする内容や場所についても注意が必要であること、また職員同士や組織の情報の取り扱いも重要であるということなどを学びました。

後半は第1回目のグループワークで出された課題を取り上げて、利用者への具体的な対応について参加者に考えてもらい、ロールプレイも行いました。利用者をより知ることで具体的な対応方法も変わってくるのが体験できたと思います。

今後、より専門的なグループワークや、事例を通じた講義等も予定しています。

（巣立ちホーム調布第2 皆川）

お笑いコンビ「松本ハウス」が三鷹にやってきました

三鷹市より巣立ち会に委託されている三鷹市精神障がい者地域生活自立支援事業（略：ピアサポート事業）では、毎年こころの病を経験された当事者の方を講師として三鷹市にお招きして、講演会を企画しております。



平成25年度の講演会では、お笑いコンビの松本ハウスさん（ハウス加賀谷さん、松本キックさん）にお越しいただき、2月14日に『松本ハウスと考えるこころの元気回復』と題して講演会を開催しました。今年の2月は東京でも雪の日が多かったですが、講演会当日も午前中から雪が降り始め、講演会が終わったころには、足首が隠れてしまうほど雪が積もってしまいました。しかし、会場の定員ギリギリの127名の方にご来場いただきました。ご参加いただきました皆様には足元が大変悪い中、ありがとうございました。

当日は、出囃子での入場からコントにはじまり、その後、ハウス加賀谷さんの発病の体験からグループホームへの入居、アルバイト経験、芸人を目指し、数年後に松本キックさんとのコンビを組んだこと、仕事が忙しくなり精神科病院への入院経験等を松本キックさんがハウス加賀谷さんにインタビューするような形でやり取りがありました。休憩後には、田尾理事長がコーディネーターにな

り、松本ハウスさんと講演会にお越しにいただいた参加者の皆様との質疑応答の時間を設け、講演会終了後には、お二人の本を購入された方へのサイン会がありました。

ハウス加賀谷さんの話を伺い、統合失調症と付き合いながらも、自分の「夢」や「目標」をもつことが、大変なところはあったと思いますが、その後の自分の人生の推進力になることを改めて感じられました。松本キックさんからは、ハウス加賀谷さんとコンビを組み、彼の病気のことを知ってから、仕事が忙しくなり、彼の精神科病院への入院を経て、約10年ぶりにコンビを復活されたことを話してくださいました。お2人での掛け合いのときもそうでしたが、最後の質疑応答の時間にも松本キックさんのとても素敵な笑顔と皆様へのとても真剣な眼差しが素晴らしかったです。松本キックさんの「一緒にかんばっていきましょう！」の一言がとても心にしみました。



大きな笑いあり、時々しっかりと聞き入ってしまう内容あり、ご来場いただいた皆様にも満足いただけたのではないかと思います。大雪の中、多数ご来場ありがとうございました。

（巣立ち風 小林）

フットサル大会

5位入賞！！



5月29日(木)、とうきょう会

議主催の『東京都精神障害者フットサル大会2014』に参加してきました。巣立ち風、こひつじ舎、ルポゼと巣立ち会合同のメンバー12名でチームを組み、全17チーム出場の大会へ。

当日は晴天に恵まれました

が、フットサルをするには暑すぎる気候。例年、リーグ戦を5チーム程度で行い、上位チームのみ決勝トーナメントに進出という方式のためリーグ戦で下位になれば、それほど試合数をこなさずに終える事が出来ていました。しかし、今年から上位トーナメント、中位トーナメント、下位トーナメントが行われ、完全な順位付けを行う仕様に変更されました。炎天下でメンバーの体力低下の対策として、12名を3ユニットに分け、そのうち2ユニットで試合に参加、1ユニットは休みのローテーションを組んで消耗に備えました。

巣立ち会チームは6チームのリーグ戦に参加、ここまでの練習の成果もあってか、しっかりと連携が取れており、初戦を3-1で勝利。2戦目こそ0-1と惜敗したが、3戦目2-0、4戦目2-1、として運命のリーグ最終戦へ。リーグ最終戦はここまで全勝のリーグ1位と対戦し、このチームに勝たなければ上位トーナメントへの進出は出来ません。

どうしても勝ちたい状況と、ここまでの試合で離脱したメンバーがいたため、最終戦は2ユニットでの参加ではなく、総力を挙げての戦いを挑みました。

試合は相手がペースを握り、ボールを回して巣立ち会へのゴールを何度も脅かすも、一丸となって守り、相手に点を許さない展開。試合も終盤に差し迫った頃、相手の攻撃をしっかりと跳ね返し、前線に残っていたメンバーにロングボールを放り込み、的確なトラップからディフェンダーを一人かわし、しっかりと右足を振り切りゴールをきめました。そのまましっかりと守り切り、勝利を収めてリーグ2位の成績で上位トーナメントへ



進出しメンバー、応援者のボルテージは最高潮に！！

上位トーナメントでは、先ほどの試合で点を取ったメンバーが負傷のため離脱。その影響もあってか、相手の当たりの強さに押され、こちらの

ミスもあり、0-2で敗戦。5位決定戦では、気持ちを切り替えてしっかりとパスを回して、得点を重ね、3-1で勝利して5位の成績で大会を終えました。

巣立ち会で参加したフットサル大会で過去最高の成績を残したからか、表彰式に参加したメンバーの表情は晴々としていたように思えました。

練習に参加して、試合でしっかりと結果を残したメンバーの皆さん、暑い中応援に来て下さった皆さん、ありがとうございました。

(巣立ち風 斉田)

研修会・講演会を開催しました

当会では補助金等を活用しつつ、年に数回研修会や講演会を開催しています。その時々でのタイムリーなテーマで、いずれも一級の講師をお招きし、しかも誰でも参加できるようなオープンな会にする（しかもなるべく無料で！）ことで、地域全体の精神保健福祉の底上げに貢献できればと考えて企画しています。

過去の「巣立ちだより」でも何度かその様子をご報告していますが、毎回多くの参加者があり、好評を博しています。

平成25年度後半には、3つの研修会・講演会を実施しました。



まず、1月22日（水）の夜に、調布市文化会館たづくり 映像シアターにて、東京えびすさまクリニックの山登敬之先生をお招きし、「思春期のメンタルヘルス」と題した研修会を実施しました。山登

先生は思春期の若者を診てきた経験が長く、著書も数多くある方です。実はこれまでルポゼのケースを通じたお付き合いしかなかったのですが、今回「思春期の若者支援の研修会」のアイデアを考えた時に、無理を承知で先生にお願いをしたところ、快くお引き受け頂きました。

当日は60名の参加者があり、豊富な経験に裏打ちされた先生のスライドと事例をご紹介頂き、とても明快でわかりやすく、医療から見た思春期の特徴、精神疾患や発達障害や不登校等を解説して頂きました。

「(様々な要素の) 実にデリケートで絶妙なバランスがピッタリと決まった瞬間」に外の世界に踏み出せる、それまで粘り強く関係を続けるという先生の姿勢は、とても共感し納得できました。先生は当日は風邪気味だったとのことでしたが、それを感じさせないような力のこもったお話でした。

* * *



そして2月12日の夜にも、同じ会場で東京大学医学部附属病院の近藤伸介先生による研修会「DSM-5のポイント」が参加者76名を得て開催されました。近藤先生は大変にお忙しい中で当会の顧問医を

引き受けて下さっている一方で、米国精神医学会（APA）の国際会員でもあります。

2013年にAPAが公表した「精神疾患の診断と分類の手引き（第5版）」（DSM-5）について、以前のDSM-IVと比べて何がどう変わろうとしているのかを解説して頂きました。

全体的には疾患横断的な、スペクトラムという概念が導入されており、その一方で多軸診断は廃止されます。ただ、予想されていたような大きな改編はではなかったこともあり、今後各地でさらなる検証を加えつつ広まっていくのではないかと思います。

私自身「ルポゼ」で利用者と面談を繰り返す中で、このスペクトラムという考え方は非常に納得できると感じました。最新の動向と自分の実感とがシンクロナイズ？したような感覚を持ちました。

そして場所を変えて世田谷区でも、2月22日に烏山区民会館で、東京都立松沢病院の三角純子先生をお招きして講演会「思春期・青年期のメンタルヘルス～統合失調症と広汎性発達障害を中心に～」を開催しました。これは、今号で別にご報告している東京都立世田谷泉高校への支援の流れで、そのエリアでの講演会を開催する運びとなったものです。当日は81名の参加がありました。

先生にはとてもわかりやすいスライドをご用意頂き、統合失調症や自閉症スペクトラムについて、



その特徴や支援について等を包括的にお話し頂きました。アンケートでも9割近くの方に「満足」とご回答頂きましたが、時間の都合で質疑があまり取れなかった中で、最後までロビーに残って参加者のご質問にお答え下さった先生のお人柄も、参加者の方々には伝わっていたのではないかと思います。

先生方にあらためて感謝申し上げるとともに、参加して下さった方にもお礼を申し上げます。今後も機会を見て様々な企画を実施していきたいと思います。

（シンフォニー 長門）

こひつじ舎 配食サービスのご案内

こひつじ舎のお弁当は月曜日から金曜日の毎日、当事業所の利用者とスタッフが協力し、昼食と夕食のお弁当を毎日違うメニューでお客様にお届けしています。

- ・「いつも、お弁当の蓋を開けるのが楽しみ！」
- ・「野菜たっぷりヘルシー♪」
- ・「かやくご飯の具も全部手作りなのが嬉しい(o^o)」

こんなお客様からの声が、私たちの大きな励みとなり、おかげさまで厨房はいつも活気にあふれています。時には全員で味見をし、意見を述べ合いながら”薄味を守りつつ、より美味しく”と心がけています。



- メニュー例
チキンとれんこんの香ばしソテー
根菜のチーズグリル
青菜とひじきのごま和え
糸こんにゃくのきんぴら／煮豆

一食
530円

お申込は _____ **こひつじ舎**
Tel: 042-488-4433 「配食係」

ユースメンタルサポート Color の活動報告

～東京都立世田谷泉高校への支援を継続しています～

先々号の巣立ちだよりでお伝えした、ユースメンタルサポート Color が独立行政法人福祉医療機構の助成金を活用して、東京都立世田谷泉高校と東京都立松沢病院と連携して実施していた「精神疾患を持つ高校生への早期支援事業」について、一年間の活動を終えたところで報告書を作成しました。

この事業では、都立世田谷泉高校のご理解を得た上で、定期的に世田谷泉高校に支援員を派遣して、生徒等への相談支援を実施しています。

また、世田谷泉高校の全校生徒へのメンタルヘルスに関するアンケート調査や、教員の方々への研修会、また全校生徒を対象にしたメンタルヘルスの授業などを実施しました。

そうした活動の内容について、報告書に詳細をまとめています。当会のホームページ (<http://sudachikai.eco.to/>) から無料でダウンロードできますので、興味を持たれた方はぜひ一度ご覧になって下さい。

なお助成金は25年度で終了しましたが、今年度も引き続き、毎週火曜日に世田谷泉高校に支援員が訪問し、支援活動を行っています。

昨年度の活動を通して、理解を示して下さいる先生方も増えています。活動を開始した当初よりも活動しやすくなってきていますし、先生方との連携もとりやすくなってきています。

学校という現場における取り組みはまだスタートしたばかりであり、取り組めることに限界を感じることもあります。しかし、多くの課題を一つ一つ乗り越え、学校と協力体制を築きながら、今後も地道に支援活動に取り組み、当事業の最も大きな理念である早期支援が、より充実してゆくように精進してまいります。

(シンフォニー 浅沼)



編集後記

つい先月、三鷹・調布に猛烈な雷雨とおまけに思いもよらぬひょうが降った。筆者は戦後直ぐの生まれだが、幼少時代の梅雨の記憶と云えば昨日も今日もシトシト、ジメジメと降り続いていたこと。やはり地球号は人間様の所業に病んでいるのか・・

優しい梅雨であってほしい。

(小島)

発行所 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21
特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会
定価 50円

編集；社会福祉法人巣立ち会
〒181-0014 東京都三鷹市野崎 2-6-42

TEL 0422-34-2761

<http://sudachikai.eco.to/>
sudachi-kaze@sudachikai.eco.to